



ほいくしつだより 2025年1.2月

社会福祉法人ピスティスの会 小規模保育室

2024年度主題 さあ、漕ぎだそう 奏でよう

暦の上では春ですが、寒い日が続いていますね。その中でも、梅のつぼみが膨らみ始め、春の訪れが近いことを感じます。

先日、子どもと戸定邸に行った時のことです。まだ誰も踏んでいない霜柱が一面に広がっていました。思い切り走って自分の足跡をたくさんつける子どもや「ぼくの方が大きい？」と友だちと足跡の大きさを比べている姿がありました。違う日には、北風が吹くたびに友だちと顔を見合わせ微笑んだり、「はー」と吐く息が白くなることに気が付き面白がったりしていました。はじめて出会うものを慎重に観察する子もいれば、思いのままに遊びだす子もいます。冬ならではの自然に触れ、五感をたっぷりと使えるようなあそびを計画していき、子どもの豊かな感性を大切に育んでいきたいと思ひます。

今月の子どもの姿



保育者の声掛けで気持ちを切り替えていた子どもが、自らティッシュを取りに行き涙を拭き、次の遊びに向かうようになりました。

先日、野のはなホールで巧技台を使って遊びました。バランスを崩してしまった子が、「もう1回やればいいんだよ」と言って、後ろの列に並び直し再度挑戦していました。「いっぱいやったら上手にできるよね」という友だちの声も聞こえてきました。どんなことがあっても気持ちを立て直して、前に進んで行く子どもの力に希望を感じます。

(へいわオリーブ保育室)



戸定邸で霜柱を発見！



金魚鉢に氷がある！触ってみよう！

最近のちいろば保育室では、見立て遊びを楽しむ子どもが増えました。

鏡を見ながらお化粧をする子、さんぴかを口ずさみ、抱いているぬいぐるみを寝かせてあげる子、「ちょっと待っててね。すぐできるわよ。」と、張り切って料理を作る子どもの姿が見られます。家庭や保育室での様子を再現しながら遊んでいるようです。

大人が想像もつかないような展開が進んでいき、遊びはどんどん広がっていきます。子どもたちの発想力を大切に見守っていきましょう。

(へいわちいろば保育室)



1月の聖句

「わたしはよい羊飼いである。」

ヨハネによる福音書 10章 11節

2月の聖句

「信仰と、希望と愛この三つはいつまでも残る。」

その中で最も大いなるものは、愛である。」

コリント信徒への手紙一 13章 13節



お知らせ



- ・来年度より、ルクミーの連絡帳機能を使用することになりました。すでに連絡帳がなくなりそうなご家庭は、保育者までお声掛けください。
- ・3月29日(土)に1年を振り返る懇談会を行います。(詳細は別紙案内) 後日 Google フォームアンケートにて出欠をとる予定です。ご参加お待ちしております。